



発行所：ベトナム子供基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話(代表)：03-3646-4121 ファクス：03-3946-7599

電子メール：kodomokikin@nifty.com ホームページ：http://homepage3.nifty.com/vcf/

# ベトナム子供基金通信

No. 48  
2009. 8. 17



ハノイ サダンろう学校の元気な生徒たち

私が最初にベトナムを訪れたのは、25年ほど前と記憶しております。

ベトナムへの関心は青年期のころに持ち始めました。それは第2次ベトナム戦争のニュース、特に世界最強といわれる米軍と果敢に戦い、勝利を目指している姿に間接的ではあれ、接してきたからだと思えます。それはもう、ベトナムとベトナム人に対しての「あこがれ」でした。その後何度ベトナムを訪問しても、己の思いが裏切られたことはありませんでした。

そんな折に、朝日新聞でホウエ先生がベトナムの子どもたちに学習支援をしてほしいと訴えている

記事を読みました。これなら自分にもできるのではと、ベトナム子供基金に入会し、今日まで里親の仲を続けています。その間里親全員と面会をしてきました。どの子も素晴らしく、私にとってかけがえのない息子・娘となりました。

先日も娘の一人が「無事大学(ハノイ国家大学)を卒業し社会人になります」との手紙をくれました。手紙にはこれまでの支援へのお礼と私に対しての気遣いが書かれていました。私は娘の前途が明るくあってほしいと祈っております。

また、もう一人の娘はこの4月に来日し、日本の大学に入学すべ

く勉学にいそしんでいます。彼女が目的を果たし、祖国に帰り活躍するのを願うばかりです。

私も70歳になりました。これからどれだけ里親を続けられるかわかりませんが、多少なりとも大好きなベトナム人の役に立てたのを喜びとして、支援を続けていきたいと思っております。

最後にうれしいニュースを一つ！桜井由躬雄氏がベトナムの財団より「第1回ベトナム学賞」を授与されました。氏は授賞式で「ベトナムを最も敬愛する外国人」と評されたそうです(2009年5月31日付朝日新聞より)。

たかはし つよし  
(高橋 強)

## 2009年ベトナム子供基金総会開催さる

本年の定期会員総会は5月16日(土)にアジア文化会館にて、出席者27名で開催されました。活動報告、活動計画、会計監査報告と予算案という通常の議題に加え、NPO法人への移行という大きなテーマについて、金沢市から出席された高橋強さんを議長として活発な議論が行われ、いずれも承認されました。本号には2009年活動計画の概要と、ベトナム人留学生ら3人のスピーチのうち、子供基金の里子だったチャン・ゴック・リンさんのスピーチの要旨を掲載しました。



グエン・ティン・フク (子供基金一般会員・ABK 寮生・東大大学院修士1年生)

### サポートする青葉奨学生は411名

今年度に子供基金が受け持つことになった青葉奨学生(里子)は411名。ベトナム青葉奨学会の統一基準として、毎月小学生4ドル、中学生6ドル、高校生8ドル相当のベトナムドンによる奨学金が支給されます。里親基金2万円の場合、里子にこの金額が渡され、日本とベトナムでの運営経費(各10%前後)を差し引いた残りの金額は、一般基金及び賛助基金と合わせて里親が決まっていない奨学

生への奨学金に充当します。子供基金としては責任ある奨学金支援を行うとともに、最も大切な里親と里子のコミュニケーションの改善に努めます。連絡に「青葉奨学会→各地方の奨学会・学校の先生→里子」という長い経由を要することや、里子が見知らぬ外国の人へ慣れない手紙を書くことの大変さなど、難題もいっぱいありますが、翻訳ボランティアに加わるベトナム人留学生が増えているなど明るい話もあります。

また、山間農村地域の恵まれない子どもたちへの支援をもっと広げていくために、個別黄梅基金の数や全体の金額を増やすことにも努めていきます(去年の合計金額は120万円、今年は130万円を目標)。

### 春の木運動の継続

昨年末に呼びかけた春の木運動は、今年の特ト(旧正月)までに736,000円の寄付金が集約され、経済的に恵まれない子どもたちに新しい制服や防寒着を届けました(通信47号で報告)。今年はスタートを早め運動を広げていきます。

### ベトナムの子どもの実情を理解し交流を深める

会員の皆さまに子供基金の支援の様子と青葉奨学生(里子)の気持ちを伝える「通信」は例年通り年4回発行します。ベトナムの子

どもの事情をより理解できるよう紙面の充実に努めていきます。また、里子訪問スタディーツアーを今年も開催します(10月実施予定)。多くの方の参加をお願いします。

### ホームページの更新・充実

昨年より検討してきた課題ですが、子供基金の活動をより広く多くの人に知らせるためには欠かせないことですので、NPO法人化することでもあり、今年こそ実現させたいと考えています。

### NPO法人への移行について

現在の子供基金は任意団体であるため、組織を持続させるためには、社会的にもきちっとした組織形態をとる必要があります。今年秋にNPO法人に移行する手続きを進めています(6月15日に申請が受理、東京都公報で公告され、認証待ちの状態です)。NPO法人化することで社会的意義のある組織として認められ、さまざまな助成や寄付金控除の可能性も出てきます。

(橋本進司)



## 奨学生のスピーチ チャン・ゴック・リン



皆さん、こんにちは。ベトナム北部のナムディンから来ましたチャン・ゴック・リンと申します。中学2年生から高校3年生まで、青葉奨学会の奨学金を頂きました。今日はベトナムでの学校時代、日本語学校時代、現在の生活、奨学生としての自分の思いについてお話ししたいと思います。

私は化学が好きで、高校に入ってから、化学を専門として勉強しました。理科系の大学を受験する希望がありましたから、学校で数学、物理と化学はほかの科目よりちょっと長く学びました。学校は朝7時に始まりますが、母の仕事を手伝うため、少し早く起きました。それから学校に行って、11時30分まで授業があります。午後のクラスもありますから、1回家に帰って昼ご飯を食べて、再び学校に行きます。学生時代は結構忙しかったですが、友達と一緒に楽しく過ごしました。大学を受験するときは、化学の分野の工学科を選びました。試験の結果を待っている間にドンズー日本語学校の、日

本留学のための試験を受験して合格しました。ベトナムの大学に入るのか、日本に留学するのかを選ぶときに、何か新しいことをチャレンジしたい、広い世界を見たいと思って、日本留学を決めました。それからドンズー日本語学校で8か月日本語を勉強して日本に来ました。日本に来て、静岡日本語教育センターで日本語の勉強を続けました。日本語を勉強しながら、八百屋さんでアルバイトをしました。アルバイトでは、野菜を切ったり、お米をといだり、レジを打ったり、掃除をしたりしました。また、日本の大学を受験するために数学、物理、化学も自習しました。2年間静岡にいたのはいい経験だったと思います。そして、今年の4月、東京工業大学の国際開発工学科に入学しました。今の目標は大学の勉強を頑張りたいということです。

次は奨学生として自分の思いを

お話ししたいと思います。私は中学2年生から青葉奨学金をもらうことになりました。当時は、私にとって初めての大きな奨学金でした。もらった奨学金は全部母に預かってもらいました。そのお金で、母を手伝って自分の学費が一部分払えることはうれしかったです。感謝の気持ちを手紙に書いて、里親さまから返事の手紙をもらったときは、とてもうれしかったです。里親さまは、桜の花、ひな祭り、里親さまと愛犬の写真を送ってくれました。その後里親さまに会っていろいろ話をする機会に恵まれました。とても楽しかったです。

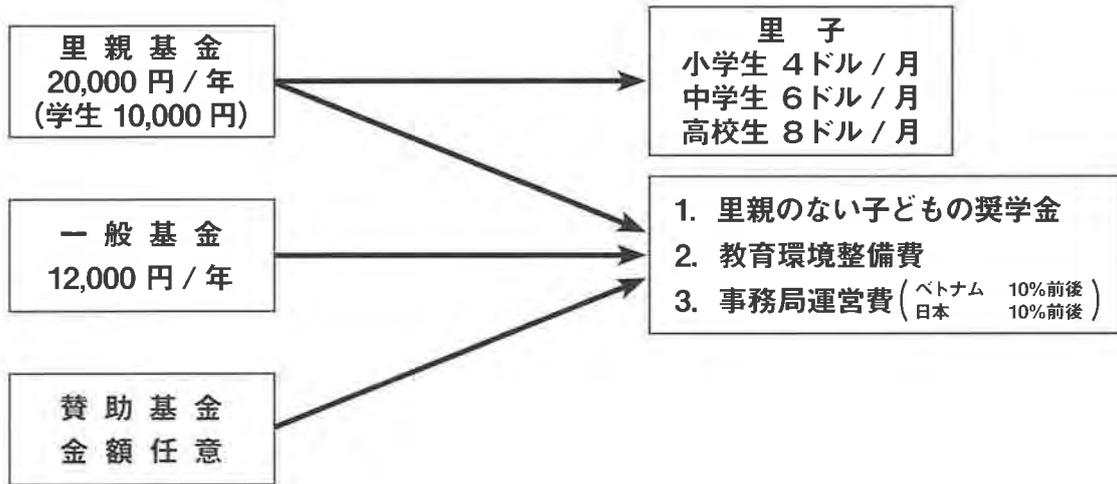
私は皆さまがどのようなきっかけで、どのような思いを込めて、ベトナムの子どものため、奨学金を送ってくださるのか知りたいと思います。そして、私の高校時代の友達に外国に行く機会がほとんどないですから、奨学金をきっかけにもっと日本の文化を紹介していただければうれしいと思います。

最後に奨学金を頂いて、本当に感謝しています。



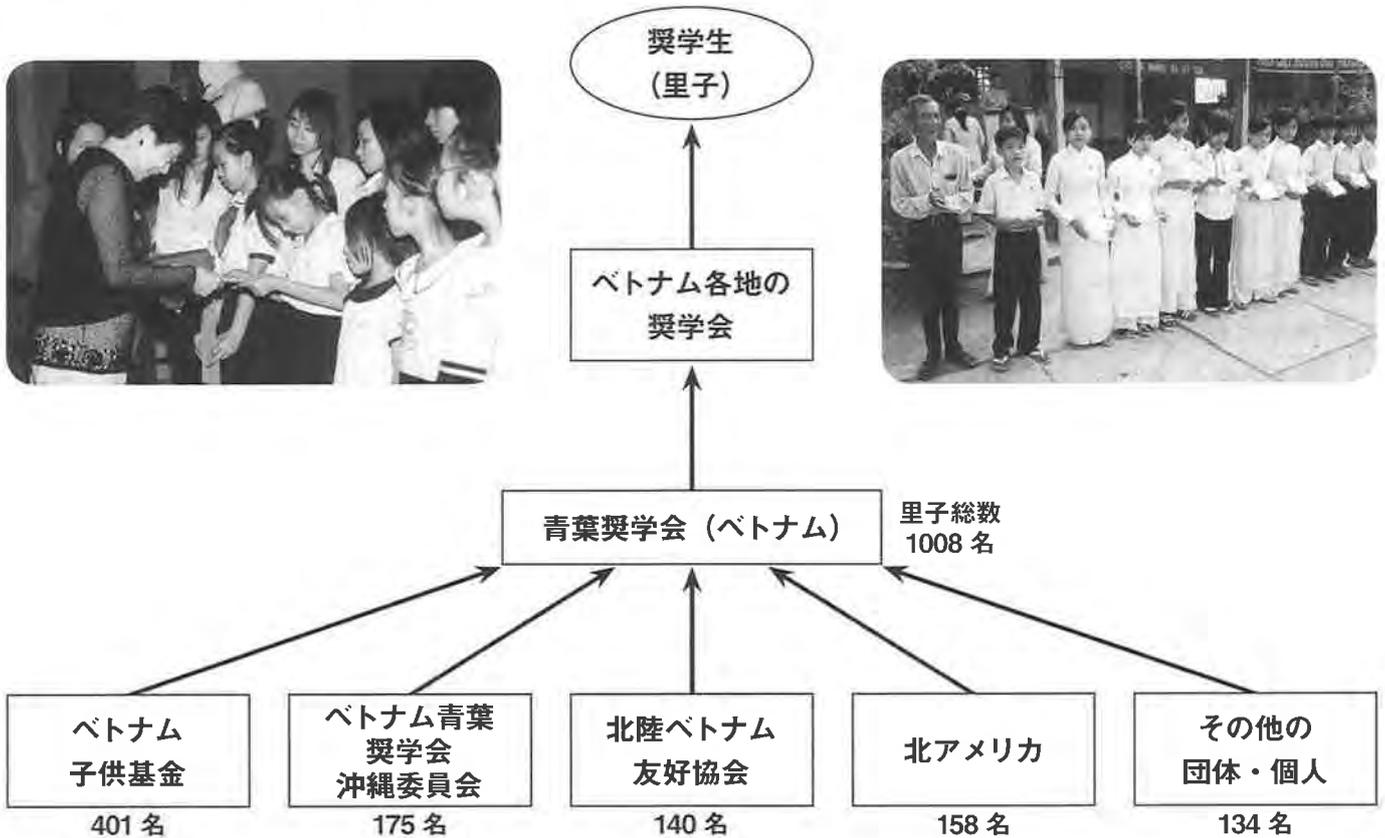
春の木運動での子どもたち (本文とは関係ありません)

## 基金支給の流れ



\* 里親のない子どもの奨学金について  
 子供基金の奨学生の中には里親を持たない子どもや、里親が途中で支援できなくなってしまう子どももおります。その子どもたちは「子供基金全体の里子」として奨学金を支給しております。ご理解をよろしくお願いいたします。

## 奨学金 2008 年実績





## トナムからの 手紙

里親さま

初めに、里親さま、青葉奨学会とドンズー日本語学校の皆さまとご家族の健康と幸福をお祈り申し上げます。

青葉奨学金を受けさせていたから4年がたちました。青葉奨学金は私にもほかの人にも困難を乗り越える大きな力を与えてくれた貴重なギフトです。頂いた奨学金は経済的な援助だけではなく、何よりもそれは里親さまと青葉奨学会の皆さまから私たちへの愛情と思いやりだと存じております。心から感謝しています。今、この手紙を通してそのあふれる感謝の気持ちを心の奥から皆さまに伝えたいのです。それでも、手紙だけ

ではとても十分ではなくて伝えられないことがあるので、いつか皆さまにお会いして直接お伝えしたいのです。

私は貧しい家庭に生まれました。父は軍隊から帰ってきて体にたくさんの傷を負っていました。厳しい季節になるたびにその傷に父が苦しめられて、だんだん体が衰えていきました。そして、2000年に父が他界してしまいました。それから、家族を支えるのはほとんど母一人でした。しかし、2人の子どもを育てている母は安定的な仕事がなく、生活はとても苦しかったです。母の背中を見てもっと努力しなければならないという強い気持ちを抱きました。里親さまと青葉奨学会の皆さまの愛情と思いやりはそのような私の気持ちを応援する大きな力になりました。日々苦勞している母を幸せにした

いのです。今まで頂いた奨学金を学費と教科書代に充ててとても助かりました。

子どものころから桜の美しい日本に留学する夢を心に抱いています。憧れている日本に行って自分の知識を広げて専門知識も能力も伸ばしたいのです。最終的にベトナムの経済発展に貢献したいのです。

現在、高校2年生になった私は夢がかなう日はもうすぐ目の前だと信じています。だからこそ、家族と里親さまの愛情を頂いて自分も全力を尽くして夢をかなえるまで頑張りたいと思います。もっとよい成績を出せるように勉強します。

ずっと応援していただいて誠にありがとうございます。

里子

グエン・ファイ・ホアン

里親さま

初めに里親さま、ご家族、お友達のご健康、お幸せをお祈り申し上げます。

以前は学費を支払うときになると、母親が締め切りに間に合うように近所の人からお金を借りて学費を支払っていました。そしてその後、農作物を売ったり、アルバイトをしたりしてその借金を返していました。こういうことを繰り返していたので、学費を支払う時期には私はとても不安でした。近年、里親さまのご支援のおかげで、経済的にだけではなく精神的にも心が軽くなりました。

毎日生活していく中で、何かに困ったり悩んだりしない人はまづいないと思います。そういう困ったとき、つまずいたときこそ、それを乗り越えることができたなら人生の勉強になるのでしょう。

同世代の友達と比べて私は随分運がよくないのです。父親はほかの女性と結婚し、残された弱妻と幼い子どもが母親と私です。そんなときに祖父、祖母が助けてくれました。しかし今、祖父も祖母も80歳を超え体力も衰えてきて、家計が苦しくなりました。時々、そのことを考えると泣き出します。しかし、「しっかりして困難を乗り越えなさい。そうすれば貧乏から抜け出せます。裕福な家庭ではお金があるのに対し、貧乏な家庭だと字しかありません。お金は限界があるけど、字は一生使えるものなのです」という先生の励ましの言葉を頂いて、もっと強くなって、先生、家族そして里親さまの期待に応えられるよう努力しようと思いを決めました。この8年間、いつも市、または学校の優秀な学生でしたが、今年は恥ず

かしいことに良しか取ることができませんでした。でも、次の高校入学試験にはA1クラスを目指して、高得点を出せるように頑張りたいと思います。

中学校を卒業して、先生や友達と別れる日が近づいてきます。青葉奨学会に関わってくださったたくさんの方々の恩は決して忘れられません。社会に貢献できるように努力していきたいと思います。それができれば、何よりも意味があるのでしょうか。

私も先輩たちのように日本に留学するという夢を持っています。そして、そのときに里親さまに会って、感謝の言葉を伝えたいのです。でもその前にもっと一生懸命勉強して、社会に役立つ人になるように頑張りたいのです。

里子

グイ・トゥ・ハ

## ●事務局から

### ◆ご入金報告

ご支援ありがとうございました。(敬称略) (「新」は新会員)

2009年4月

2009年5月

2009年6月

### ◆ベトナム子供基金会員募集!

(友人・知人をお誘いください。ご協力お願いします!)

里親基金：年額1口2万円 学生会員：年額1口1万円	特定の「里子」に奨学金を支給する里親になっていただきます。ベトナム青葉奨学会から里子の履歴票が届き、里子と手紙のやりとりができます。
一般基金：年額1口1万2000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。子供基金通信によって、会の運営、子どもたちの様子をお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数等、いっさい自由です。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設します。該当学校に青葉奨学金を併設することも可能です。
個別黄梅基金 1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立し預金利子を奨学金とします。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上、決定します。
ベトナム黄梅基金 1口1万円	複数のベトナム子供基金会員で基金を設立し、預金利子を奨学金とします。

・ベトナム子供基金へのご寄付は、下記の口座をお願いいたします。

里親基金関係(一般、賛助基金を含む)	口座名義「ベトナム子供基金」
郵便振替 00140-1-70399	銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 1495745
黄梅基金関係(個別、学校建設を含む)	口座名義「ベトナム子供基金」
郵便振替 00190-6-666994	銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 8071959

### ◆事務局だより

暑い日が続きますが、皆さまお元気でしょうか? 前回の総会では、ベトナム子供基金元奨学生のリンちゃんから、無事に大学に入学できたとの報告をいただきまして、とてもうれしく思いました。皆さまも同じ気持ちだと思います。表紙の写真は、昨年スタディーツアーで訪問したときの、ハノイのサダンろう学校での写真です。訪問後、この学校へ、ベトナム子供基金による5名の奨学生が決まりました。今年も10月に、ベトナムへのスタディーツアーを行う予定になっております。今回は黄梅基金の予定地を訪れようと計画をしております。ぜひ、一緒に楽しい旅をいたしましょう!

ただ今、事務局では運営委員の奥山氏を中心にNPO法人化作業をしております。また、事務局長には元事務局長の南康雄氏に再度就任していただきました。9月には、ホウエ先生来日に際して会員の皆さまとの交流会を行いたいと考えております。具体的に決まり次第ご案内いたしますので、ご参加をお願いします。それでは、皆さまの夏休みを楽しくお過ごしください。(樋川)

ベトナム青葉奨学会 QUY HOC BONG LA XANH 電話：84-8-8477359 ファクス：84-8-8477527  
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU 43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan, Ho Chi Minh, Viet Nam  
日本の「ベトナム子供基金」は、ベトナムの「青葉奨学会」を通し、ベトナムの子どもに贈られます。